

未来をつくる 深谷の進学先

オープンキャンパス 情報!

今月は深谷市内の大学・専門学校のオープンキャンパス情報をお知らせします。

■ 埼玉工業大学

〒埼玉工業大学 (☎0120-604-606)

所在地 普濟寺1690

学部 工学部、人間社会学部

オープンキャンパス=7月12日(日)、8月8日(土)・26日(水)各日午前10時~午後2時(受付=午前9時30分)

9月12日(土)、令和9年3月27日(土)各日午前10時~午後0時30分(受付=午前9時30分)

内容 学部・学科ごとの特色を生かした体験型プログラム、個別相談、キャンパスツアー、無料キャンパスランチ体験、模擬面接体験(要予約)など

WEBオープンキャンパス 学部・学科の学びや学生生活、キャンパスの雰囲気を動画(右記QRコードからアクセス)で紹介しています

☎埼玉工業大学ホームページ(上記QRコードからアクセス)から申し込み



■ 東都大学

〒東都大学深谷キャンパス (☎574-2500)

所在地 上柴町西4-2-11

学部 ヒューマンケア学部看護学科

オープンキャンパス=7月12日(日)、8月8日(土)・22日(土)、9月27日(日)、11月23日(水)各日午前9時30分~

内容 学生トークショー、体験実習、個別相談、キャンパスツアー、学生との交流ブース、無料学食体験(要予約)など

☎東都大学ホームページ(上記QRコードからアクセス)から申し込み



■ 葵メディカルアカデミー

〒葵メディカルアカデミー (☎573-9321)

所在地 西島町3-14-1

学部 歯科衛生科、理学療法科

オープンキャンパス=7月4日(土)・19日(土)・26日(土)、8月3日(月)・11日(水)、23日(土)・25日(日)各日午前10時~正午 ※7月26日(土)は歯科衛生科のみ、8月3日(月)は理学療法科のみ、8月25日(日)は高校2年生向け

内容 学校紹介、模擬授業、施設見学、在校生懇談、個別相談など

☎葵メディカルアカデミーホームページ(上記QRコードからアクセス)から申し込み



ふっかちゃん子ども福祉事業

「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用し下記の助成事業を実施しています!詳しくはお問い合わせください

	軽度・中等度難聴児補聴器 購入費助成事業	深谷市ふっかちゃん障害児 療育経費助成事業	深谷市ふっかちゃん障害児 スポーツ助成事業
助成内容	補聴器の購入費用の一部、またはこの事業で購入した補聴器の修理費用の一部	障害児が、医師の指示のもと実施される専門性の高い療育事業に参加した場合、その経費の一部	障害児が行う障害者スポーツに必要な補装具・用具・消耗品の購入費用など
助成対象	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までの難聴児①深谷市に住所を有する、②いずれかの耳または両耳の聴力レベルが25デシベル以上で、身体障害者手帳の交付対象とならない、③装用により言語の習得など一定の効果が期待できると医師が判断	次の要件すべてを満たす18歳未満の障害児または障害児の保護者①障害児または障害児の保護者のいずれかが深谷市に住所を有する、②対象の療育事業(音楽療法、ソーシャルスキル、ヴィジョントレーニングなど)に参加した	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までの障害児①深谷市に住所を有する、または在勤・在学している、②障害者スポーツに必要な補装具の購入・修理または用具・消耗品の購入
助成金額	購入する補聴器の種類や修理内容により異なります。	参加費用の2分の1(100円未満切捨て) ※月額上限5,000円	<ul style="list-style-type: none"> 補装具の購入または修理費の10分の9(年間上限50万円) 用具または消耗品費の2分の1(年間上限4万円)
備考	購入する前に申請が必要です。	障害者手帳を所持していないかたも医師の意見書により助成を受けられる場合があります。	対象スポーツであれば部活などで使用する場合も対象(授業で使用する場合は対象外)。障害者手帳を所持していないかたも、医師の意見書などにより助成を受けられる場合があります。

☎障害福祉課 (☎571-1011・FAX 574-6667)



立志と忠恕の後継者
敬三物語

第4話 落第

渋沢敬三は明治42(1909)年4月、東京高等師範学校附属中学校(以下、附中)に進学します。敬三の附中時代といえ、クラスメートは皆口々に「芝居」と言います。敬三は、とても上手に演じる評判で、フランスのロマン主義作家ヴィクトル・ユーゴーの『レ・ミゼラブル』(あ無情)を朗読して大喝采を浴び、学芸会では主人公のジャン・バルジャンを演じて人気を博し、『ジャン』というあだ名まで頂戴しました。また、雄弁家であるとみんなが言い、自分の考えを自身の言葉で語り、自然で個性的な話術と評判でした。教師にも一目置かれ、ウイット、

ユーモア、ジョークなどは、誰にも引けを取りませんでした。水泳もかなり得意で、附中代表として、東洋オリンピック水泳大会に出場しました。しかし、附中の生徒は古い泳法しか知らず、クロールを習得していた相学校に惜敗したそうです。動物学に対する興味もますます旺盛になり、附中水泳部で房州富浦へ行くときネコザメに寄生するウミヒルを発見したほか、修学旅行で箱根、修善寺、熱海に行っても、珍しいヒルを採集・観察し論文にまとめていました。そんな中学生時代を過ごした敬三でしたが、3年生の時に度落第してしまいます。3年生になり鼻の手術を受けたのが理由と敬三自身は言っていますが、実は父・篤二が家から姿を消したことが世間に知れ渡り、それが新聞に報道されたことで、とうとう篤二は太正2(1913)年1月に廃嫡となってしまうました。そのためか敬三は、たびたび高熱を出し、また不眠症にもなっていました。成績は急降下し、学期末の試験で点数が伸びず、落第してしまったのです。